

NEWS RELEASE

2021年11月12日

各位

みずほリース株式会社

備蓄非常食の寄贈について

本日、当社は災害等発生時の非常食として備蓄していたインスタント米3,600食分を、フードバンクである「セカンドハーベスト・ジャパン（以下「2HJ」）」へ寄贈しましたので、お知らせいたします。

当社では社員の健康と安全を守るために、常時、非常食を備蓄していますが、幸いにも被災がなく、賞味期限が到来する場合は、廃棄せざるを得なくなってしまいます。今日、日本で廃棄されている食品は年間500～800万トンあり、日本の米生産量と同等程度の量です（2HJ調べ）。一方、日本国内ではおよそ6.5人に1人が相対的貧困線以下※で生活をしており、栄養ある食べ物を十分に得ることが難しい状況です。

今回、当社は食糧の廃棄を防ぐと同時に、栄養ある食事を満足に得ることが難しい児童養護施設の子どもたちや、ひとり親家庭、路上生活を強いられている人たちなどに、2HJを通じて食糧をお届けします。今後も当社は、持続可能な社会の実現をしていくと共に、事業活動を通じて、社会に貢献してまいります。

※世帯の所得が国の等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分に満たない状態のこと。2018年の貧困線は127万円で、相対的貧困線以下の人々は国民の15.4%を占める。（参照：厚生労働省『2019年国民生活基礎調査の概況』）



今回寄贈するのは、水かお湯を入れるだけで食べることができるインスタント米

【お問い合わせ先】

みずほリース株式会社 経営企画部
コーポレートコミュニケーション室
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目2番6号
TEL 03-5253-6540

以上